

平成 29 年度

『JAXA オープンラボ公募』

【募集要項】

国立研究開発法人 **宇宙航空研究開発機構**
Japan Aerospace Exploration Agency

もくじ

1. 制度の目的	1
2. 制度の概要	2
2-1 応募から共同研究までの流れ	
2-2 JAXA の有する技術	
2-3 共同研究における役割及び費用分担	
2-4 審査のポイント	
3. 応募要件等	9
3-1 応募資格	
3-2 応募期間	
3-3 応募条件	
3-4 応募方法	
4. 成果・知的財産権の取り扱い	12
4-1 知的財産権の取り扱い	
4-2 成果の取り扱い	
5. その他	13

【添付資料】

別紙 審査のポイント

(フィジビリティスタディフェーズ、開発フェーズⅠ、開発フェーズⅡ)

1. 制度の目的

本制度は、宇宙航空の産業振興を目的とし、国内のより多くの企業・大学等に宇宙航空技術の活用機会を提供することで、以下のいずれかを目指す研究開発を促進します。

- 宇宙航空に関連する製品・サービスの創出
- JAXA 技術を活用した製品・サービスの創出

より多くの企業・大学等と JAXA が連携し、宇宙航空に関連する企業が増加すること及び宇宙航空技術を活用した製品・サービスが国民生活に広く浸透することを期待しています。

「宇宙航空ビジネスにチャレンジしたい」、「宇宙航空にとって画期的で有力となる製品を生み出したい」、「宇宙航空技術を使って新製品・新サービスを開発したい」といった意欲のある皆さまからのご応募をお待ちしております。

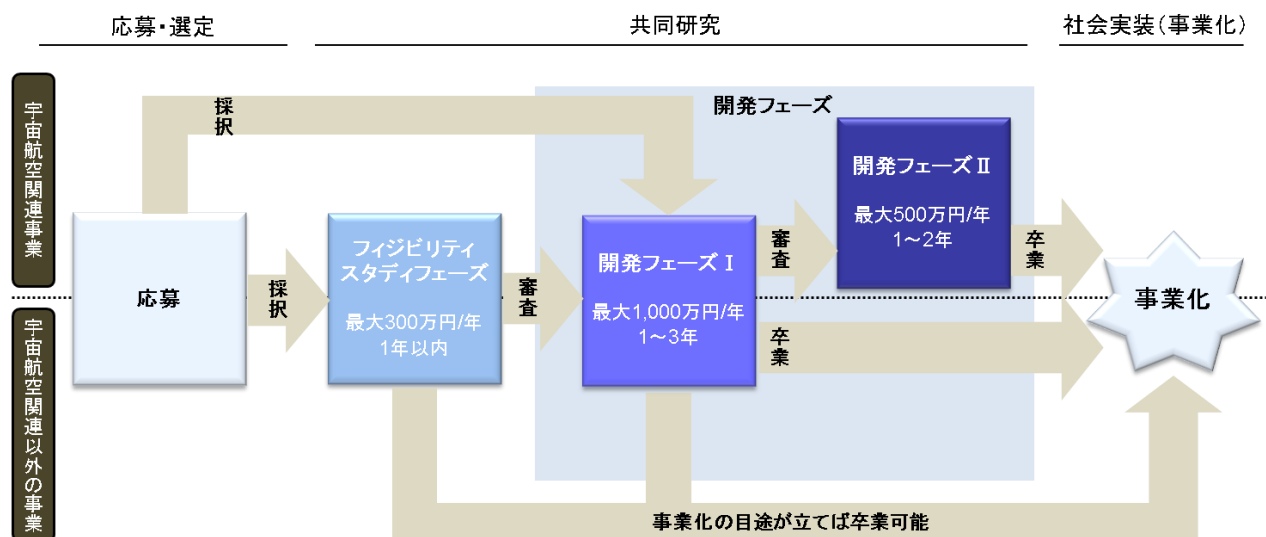
2. 制度の概要

『JAXA オープンラボ公募』では、提案者からの JAXA がもつ技術等を活用した提案内容に基づいて JAXA と提案者が役割と費用を分担し、共同研究を行います。

JAXA が分担する費用については、JAXA の技術等の活用の可能性を検証するために必要となる費用とし、フェーズに応じて、年間最大 1,000 万円の共同研究費を分担します。

なお、提案者が宇宙航空に関連する製品・サービスや JAXA 技術を活用した製品・サービスを創出し事業活動を行うこと、及び JAXA の宇宙航空技術が進展すること等が期待できる研究提案を募集します。

【JAXA オープンラボ公募制度概要】



※1) 応募について

応募は「フィジビリティスタディフェーズ」もしくは「開発フェーズ I」のいずれかから選択してください。なお、「開発フェーズ II」への応募については、過去にオープンラボ公募における採択実績を有し、応募条件・応募資格 (P3「JAXA オープンラボ公募制度 共同研究フェーズ概要」参照) を満たしている場合に限りです。

※2) 共同研究の継続について

年度毎に、研究進捗(技術成果、事業プラン等)について、年度末審査を行い、共同研究継続の可否を決定します。

なお、フェーズをまたがって継続を希望する場合には、改めて次フェーズに新規応募いただく流れとなります。

【JAXA オープンラボ公募制度 共同研究フェーズ概要】

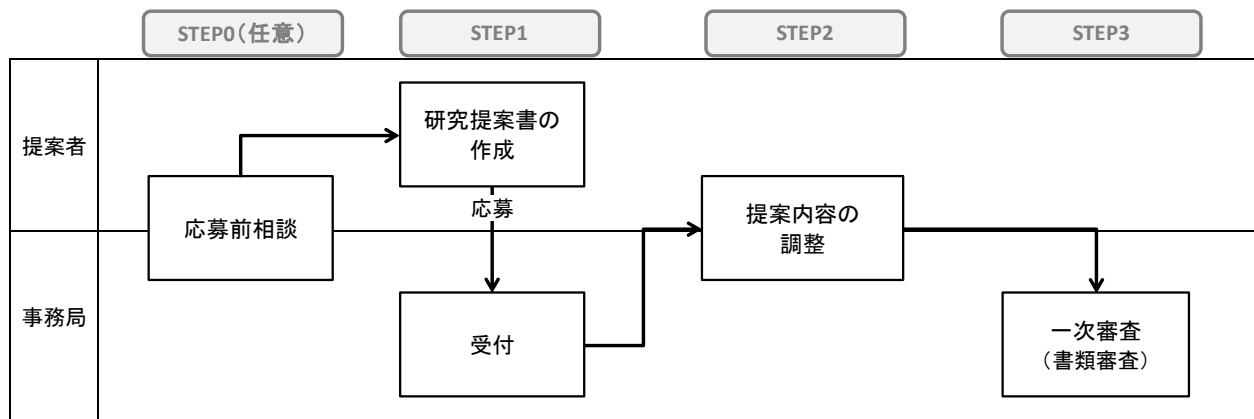
	フィジビリティスタディ フェーズ	開発フェーズ	
		開発フェーズ I	開発フェーズ II
フェーズの定義	JAXAの技術等を活用した新たな事業コンセプト創出の実現性について研究する(製品・サービスを開発するための基礎を検証する)ためのフェーズ	JAXAの技術等を活用した新たな事業コンセプトを具体化する(実用化の可能性を検証する)ためのフェーズ	開発フェーズ I で新たに「社会実装」への技術課題が識別された場合において、課題解決に取り組むためのフェーズ
応募条件	①提案者の技術・研究成果が、基礎研究以上のレベルであること	①提案者の技術・研究成果が、応用研究以上のレベルであること	①提案者の技術・研究成果が、実用研究以上のレベルであること
	②共同研究終了後もJAXAの求めに応じて、研究成果を用いた研究開発、事業活動状況について報告すること		
	—	③共同研究終了後の事業プランが提案されており、事業化を担当する企業が提案グループに含まれていること	
	—	④オープンラボ公募における採択実績を有し、事業化を目指す事業分野が、宇宙航空関連事業であること	
研究期間	1年以内	1～3年	1～2年
共同研究における JAXA分担費	最大300万円/年	最大1,000万円/年	最大500万円/年

2-1 応募から共同研究までの流れ

ご応募いただいた提案について、提案者は一次審査(書類審査)に向けて、応募すべきフェーズや提案内容の実現性、JAXA との共同研究の可能性等について、必要に応じて JAXA オープンラボ公募事務局と調整を行います。事務局との調整が完了した案件については、一次審査で審査されます。

提案者は、一次審査を通過した場合、JAXA 研究者と共同で役割分担等の調整を行い、共同研究提案書等を作成して頂きます。この共同研究提案書等に基づき、最終審査を実施し採択されます。

【 I 】 応募から一次審査までの流れ



STEP0(任意) 応募前相談

事務局は、提案者からの応募前相談に通年に対応しています。本制度の主旨をご理解いただいた上でより良いご提案を頂けるよう、事務局よりアドバイスさせていただきます。

※応募前相談を行うことを推奨します。ご希望の方は、オープンラボ公募事務局宛にご連絡ください。



STEP1 応募申込・受付

提案者は、応募書類(研究提案書)を作成の上、本制度に申し込んで下さい。



STEP2 事務局との提案内容の調整

応募受付後、提案者と事務局が一次審査に向けて、応募すべきフェーズや提案内容の実現性、JAXA との共同研究の可能性等について調整を行います。提案内容の調整が完了したものが、一次審査の対象となります。

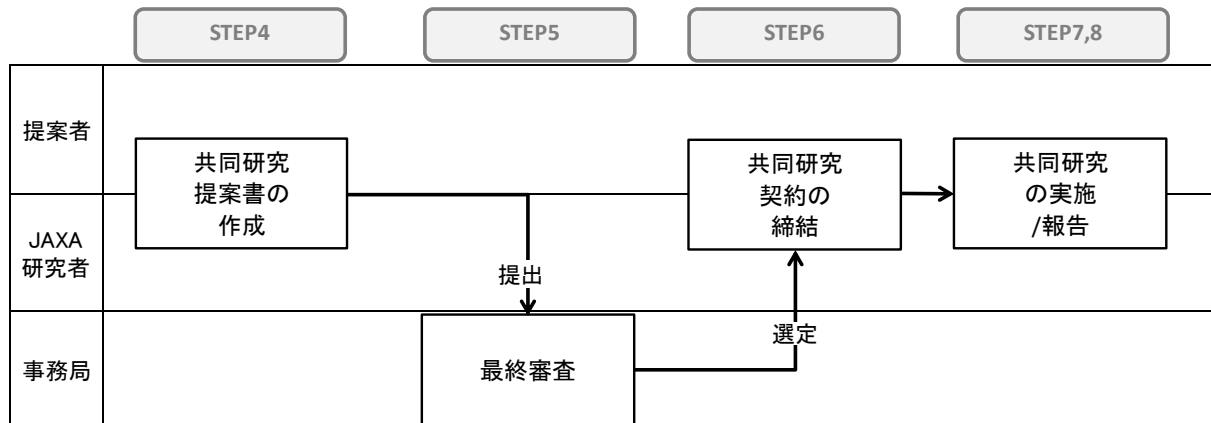


STEP3 一次審査(書類審査)

提案者－事務局間で調整された研究提案書に基づき、一次審査(JAXA 外部の審査委員を含む書類審査)[※]を行います。

※ 一次審査では“実施の意義”、“事業プランの妥当性”について審査のポイント(別紙参照)に基づく審査を行います。

【Ⅱ】一次審査通過以降～共同研究までの流れ



STEP4 JAXA 研究者との共同研究提案書の作成

一次審査を通過した提案については、JAXA 研究者との間で役割分担等の調整を行い、共同研究提案書(実施計画書(案)を含む)を作成して頂きます。その際、必要に応じ JAXA との間で秘密保持契約を締結して頂きます。

また、JAXA 研究者の紹介を希望される場合は、共同研究提案書の作成に取り掛かるまでに事務局より JAXA 研究者を紹介します。

STEP5 最終審査

JAXA 研究者と作成した共同研究提案書等に基づき、最終審査※を行います。

※ 最終審査では主に“研究提案内容の妥当性”について審査のポイント(別紙参照)に基づく審査を行います。

STEP6 JAXA との共同研究契約の締結

最終審査で選定された提案について、JAXA と企業・大学等の間で共同研究契約を締結し、共同研究を開始して頂きます。

STEP7 JAXA との共同研究の実施

共同研究は、JAXA 研究者と企業・大学等の間で進められますが、四半期に1回程度の頻度で事務局を交えた定例会を実施して頂きます。

STEP8 共同研究成果の報告

年度毎に、研究進捗(技術成果、事業プラン等)について、報告して頂きます。

次年度への共同研究継続可否については、上記の研究進捗について年度末審査を行い、決定します(研究結果の観点に限らず、事業プランの観点からも審査します)。

2-2 JAXA の有する技術

JAXA の有する技術の例について、下記ホームページで紹介しています。技術の特徴に加えて、想定される用途についても紹介していますので、ぜひご覧ください。

- <http://aerospacebiz.jaxa.jp/solution/open-labo/#note>

※最新情報を随時更新しています。

2-3 共同研究における役割及び費用分担

① 役割分担

提案者からの提案内容に基づいて、各種提案書等を作成する段階で JAXA 研究者と協議の上で定めます。

② 費用分担

JAXA が分担する費用についての基本的な考え方は以下の通りです。

“提案者(企業・大学等)及び JAXA 研究者が、JAXA の技術等の活用[※]の可能性を検証するために必要となる費用。”

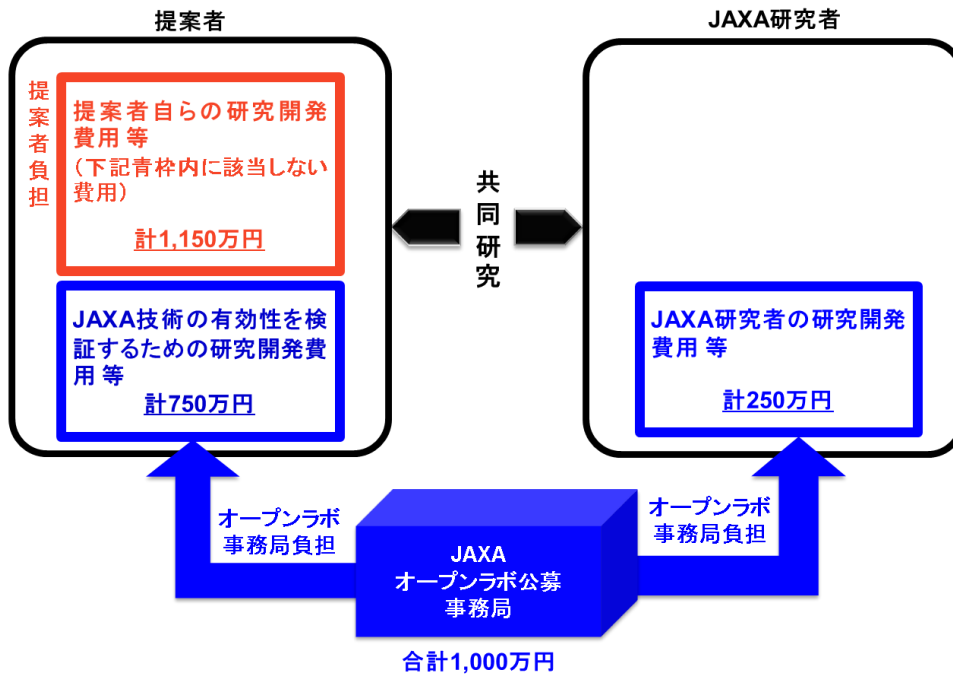
※「JAXA の技術等の活用」の例:

JAXA の技術等を用いた宇宙航空産業に資する事業(ハードウェア、ソフトウェア、サービス)の創出。

JAXA の技術等を用いた事業(商品、サービス等)の創出。

なお、上記に該当しない作業に係る費用(提案者自らの技術／製品開発費用や、研究成果を用いて事業化を行うための費用等)は、提案者自身が負担することとします。

〔例〕提案者が開発フェーズⅠ（最大1,000万円）に応募する場合



2-4 審査のポイント

一次審査及び最終審査では、「審査のポイント」(別紙参照)に基づき審査を行います。提案書作成の際に、参考にしてください。

3. 応募要件等

3-1 応募資格

原則として JAXA と共同研究契約を締結することができる国内の機関、法人または団体であること。

3-2 応募期間

平成 29 年度の最新審査スケジュールは下記のとおりです。

なお、通年公募のため、随時提案を受け付けています。次回審査スケジュールは、JAXA オープンラボ公募ホームページ上でお知らせします。

募集受付×切	1 月 10 日(火)17 時
一次審査	～3 月下旬頃
JAXA 研究者との共同研究提案書作成	～4 月中旬頃
最終審査	～5 月上旬頃
共同研究開始	契約完了次第、順次

※1) 平成 29 年度公募説明会を各地で開催予定ですので、ぜひご参加ください。最新の説明会開催情報については、下記のホームページ上でお知らせします。

※2) 応募受付が完了した提案より、順次審査手続きを開始します。

※3) 公募状況等によってスケジュールを変更する可能性があります。最新スケジュールについては、下記のホームページ上でお知らせします。

【JAXA オープンラボ公募ホームページ】

<http://aerospacebiz.jaxa.jp/solution/open-labo/>

3-3 応募条件

- ① 提案者の技術・研究成果が、それぞれ申し込むフェーズで求められている研究レベル※であること。

フィジビリティスタディフェーズ	： 基礎研究以上のレベル
開発フェーズⅠ	： 応用研究以上のレベル
開発フェーズⅡ	： 実用研究以上のレベル

※ 製品開発が 基礎研究 ⇒ 応用研究 ⇒ 実用研究 ⇒ 実用化 の順で進行すると定義した場合。

- ② 共同研究終了後も JAXA の求めに応じて、研究成果を用いた研究開発、事業活動状況について報告すること。

※「開発フェーズⅠ」もしくは「開発フェーズⅡ」を選択する場合

- ③ 共同研究終了後の事業プランが提案されており、事業化を担当する企業が提案グループ（提案者またはその委託先等を指す）に含まれていること。

なお、共同研究終了から概ね 3 年以内に事業化達成の見込みがあること。

※「開発フェーズⅡ」を選択する場合

- ④ オープンラボ公募における採択実績を有し、事業化を目指す事業分野が、宇宙航空関連事業であること。

3-4 応募方法

(1) 応募に必要な書類

- 研究提案書(別紙 1~3 を含む): 1 通
- 会社および大学案内(ホームページ情報(URL)でも可)
- 財務諸表(直近 3 期分の貸借対照表及び損益計算書)

※事業化を担当する法人企業の財務諸表を提出してください。

フィジビリティスタディフェーズに大学単独等で応募される場合に限り、提出は不要です。

(2) 研究提案書の作成

下記ホームページから「研究提案書」の様式をダウンロードし、必要事項を記載ください。

(応募方法) <http://aerospacebiz.jaxa.jp/solution/open-labo/#form>

(3) 提出方法及び提出先

(1)の必要書類一式を、事務局まで E-mail(20MB 以内)でご提出ください。事務局から、提案書類受領の確認メールをお送りします。

※フリーメールアドレスからの応募はご遠慮ください。メールを受信できない場合があります。

※万が一、提出後 3 日以内(土日祝を除く)に確認メールが届いていない場合は、「JAXA オープンラボ公募」事務局 (openlab@jaxa.jp) までご連絡ください。

他機関からの助成金、補助金等の交付状況について、研究提案書内の該当欄に必ず記入してください。

他の制度に申請中の段階で本制度に応募いただくことは問題ありませんが、同一研究テーマの複数制度による交付に該当する場合等、他制度への申請内容及び交付状況等によっては、本制度の審査対象から除外される場合があります。

■ 提出先 ■

宇宙航空研究開発機構(JAXA)
「JAXA オープンラボ公募」事務局

E-mail: openlab@jaxa.jp

4. 成果・知的財産権の取り扱い

4-1 知的財産権の取り扱い

共同研究の実施に係る成果については以下のとおりとします。

- ① 共同研究の実施により共同で発明等が生じた場合には、速やかに相手方に通知することとします。当該権利は共同で所有するものとし、その持分は実施計画での役割分担に基づくそれぞれの知的貢献の割合に応じて協議のうえ定めさせていただきます。
- ② 単独で発明等を行った場合には、予め相手方の同意を得て、当該発明等に係る知的財産権を単独で所有する権利を持ちます。
- ③ その他詳細条件については、共同研究契約書にて別途定めることとします。

4-2 成果の取り扱い

- ① 共同研究の成果等について、共同研究終了後、速やかに共同研究計画書に沿った報告書をまとめて JAXA に提出することとします。報告内容について、JAXA は提案者側の同意を得た後、適宜、ホームページ、展示会(セミナー、シンポジウム)等で公開する場合があります。
- ② 共同研究の成果を用いて、ビジネス等を行う場合には、速やかに、JAXA に報告をお願いします。
- ③ その他詳細条件については、共同研究契約書にて別途定めることとします。

5. その他

- ① 応募書類は審査以外の目的に使用せず、応募に関する秘密は厳守します。なお、応募書類は返却致しません。
- ② 今回応募された方の氏名、勤務先等の個人情報については、本制度の運営他、JAXA による各種募集、シンポジウム等に関する情報をダイレクトメールおよび電子メール等でお知らせするために利用します。
また、皆さまから収集した情報・資料のうち個人を特定できるものについては、以下に掲げる3つの例外的な場合を除き、これを意図的に第三者に開示することは一切行いません。
 - ・法的根拠に基づいて請求された場合
 - ・情報・資料の提供に伴って、特に第三者への開示についての承諾を提供者から得ている場合
 - ・JAXA の提供する情報・資料を当該利用者に引き渡す業務の担当者に対し、当該引き渡し業務の履行に必要な範囲において、開示する場合
- ③ 本制度は、共同研究成果を JAXA の事業等に採用することを確約するものではありません。JAXA の事業への採用にあたっては、別途、入札(公開調達)など所定の手続きが必要となります。
- ④ 製品やサービスが共同研究の成果として生まれ、販売される場合には、宇宙ブランド (JAXA COSMODE PROJECT ロゴマーク) を利用頂くことを原則とします。なお、利用にあたっては「JAXA COSMODE 利用の手引き」に従っていただきます。

<http://aerospacebiz.jaxa.jp/success-story/#cosmode>



〔別紙〕 審査のポイント

【フィジビリティスタディフェーズ】

審査項目		審査のポイント
大項目	中項目	
実施の 意義	社会・産業の発展 への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に創出される製品・サービスは、日本の社会発展(国民の生活が豊かになること、社会課題を解決すること等)や産業活性化(経済効果をもたらすこと等)に貢献することが期待されるか。 ・外部(行政・産業界・学会等)からのニーズがある研究課題であるか。ある場合には、要請元は明らかであるか、また要請内容は具体的か。
	宇宙航空産業の 裾野拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙航空産業への異業種からの新規参入、もしくは参入済企業が新たな宇宙航空事業を創出することが見込まれる提案であるか。 ・宇宙航空産業に関連する製品・サービスの創出が見込まれる提案であるか。
	宇宙航空産業の 基盤・国際競争力 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の宇宙航空産業及び宇宙航空技術の国際競争力強化に繋がることが見込まれる提案であるか。
事業 プランの 妥当性	市場分析	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的データに基づき、論理的にターゲット市場における顧客分析、競合分析、自社分析が行われているか。
	事業モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、事業モデルが論理的に提示されているか。
	事業実施体制・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を具現化する体制・能力(実施体制、保有技術、保有設備、経済的能力等)を有しているか。
	事業化スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、開発スケジュール、製品化スケジュール、販売スケジュールが論理的に提示されているか。
	収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、事業化後 3 ヶ年における年度別の収支計画が適切に提示されているか。
	リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> ・事業リスクとその対応策が適切に提示されているか。

研究提案 内容の 妥当性	共同研究の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・JAXA の技術等が活用され、宇宙航空技術の進展が期待できる提案であるか。 ・提案者の保有する技術・研究成果を用いた提案となっているか。また、提案者の技術・研究成果の成熟度は、<u>基礎研究以上のレベル</u>であるか。
	提案者の技術・研究成果の優位性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の技術・研究成果は、他の技術・研究成果に対して優位性があるか。
	研究目標	<ul style="list-style-type: none"> ・最終目標が明確な理由に基づき定量的に設定されているか。
	研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の現状を的確に把握し、研究課題が明確な理由に基づき具体的に抽出されているか。
	研究方法	<ul style="list-style-type: none"> ・最終目標達成のために必要な研究要素を取り上げており、確実に課題解決につながる研究方法であるか。
	研究実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・最終目標達成のために妥当なスケジュールか。
	研究資金計画	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者及び JAXA が分担する研究費が妥当であるか。 ・研究費は具体化され、それぞれの内容は研究段階や研究活動の性格に相応しいか。
	研究実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者と JAXA の役割・責任分担・実施体制は研究段階や研究活動の性格に相応しいか。 ・共同研究成果を最大化するため、提案者及び JAXA はそれぞれ組織(産業)横断的な視点で検討された研究体制となっているか。 ・共同研究メンバー組織は、国内の機関、法人または団体であるか。

【開発フェーズ I】

審査項目		審査のポイント
大項目	中項目	
実施の 意義	社会・産業の発展 への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に創出される製品・サービスは、日本の社会発展(国民の生活が豊かになること、社会課題を解決すること等)や産業活性化(経済効果をもたらすこと等)に貢献することが期待されるか。 ・外部(行政・産業界・学会等)からのニーズがある研究課題であるか。ある場合には、要請元は明らかであるか、また要請内容は具体的か。
	宇宙航空産業の 裾野拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙航空産業への異業種からの新規参入、もしくは参入済企業が新たな宇宙航空事業を創出することが見込まれる提案であるか。 ・宇宙航空産業に関連する製品・サービスの創出が見込まれる提案であるか。
	宇宙航空産業の 基盤・国際競争力 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の宇宙航空産業及び宇宙航空技術の国際競争力強化に繋がることが見込まれる提案であるか。
事業 プランの 妥当性	市場分析	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的データに基づき、論理的にターゲット市場における顧客分析、競合分析、自社分析が行われているか。
	事業モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、事業モデルが論理的に提示されているか。
	事業実施体制・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を具現化する体制・能力(実施体制、保有技術、保有設備、経済的能力等)を有しているか。
	事業化スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、開発スケジュール、製品化スケジュール、販売スケジュールが論理的に提示されているか。
	収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、事業化後 3 ヶ年における年度別の収支計画が適切に提示されているか。
	リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> ・事業リスクとその対応策が適切に提示されているか。

研究提案 内容の 妥当性	共同研究の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・JAXA の技術等が活用され、宇宙航空技術の進展が期待できる提案であるか。 ・提案者の保有する技術・研究成果を用いた提案となっているか。また、提案者の技術・研究成果の成熟度は、<u>応用研究以上のレベル</u>であるか。
	提案者の技術・研究成果の優位性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の技術・研究成果は、他の技術・研究成果に対して優位性があるか。
	研究目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中間目標及び最終目標が明確な理由に基づき定量的に設定されているか。
	研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の現状を的確に把握し、研究課題が明確な理由に基づき具体的に抽出されているか。
	研究方法	<ul style="list-style-type: none"> ・中間目標及び最終目標達成のために必要な研究要素を取り上げており、確実に課題解決につながる研究方法であるか。
	研究実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・中間目標及び最終目標達成のために妥当なスケジュールか。
	研究資金計画	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者及び JAXA が分担する研究費が妥当であるか。 ・研究費は具体化され、それぞれの内容は研究段階や研究活動の性格に相応しいか。
	研究実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者と JAXA の役割・責任分担・実施体制は研究段階や研究活動の性格に相応しいか。 ・共同研究成果を最大化するため、提案者及び JAXA はそれぞれ組織(産業)横断的な視点で検討された研究体制となっているか。 ・共同研究メンバー組織は、国内の機関、法人または団体であるか。

【開発フェーズⅡ】

審査項目		審査のポイント
大項目	中項目	
実施の 意義	社会・産業の発展 への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・最終的に創出される製品・サービスは、日本の社会発展(国民の生活が豊かになること、社会課題を解決すること等)や産業活性化(経済効果をもたらすこと等)に貢献することが期待されるか。 ・外部(行政・産業界・学会等)からのニーズがある研究課題であるか。ある場合には、要請元は明らかであるか、また要請内容は具体的か。
	宇宙航空産業の 裾野拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙航空産業への異業種からの新規参入、もしくは参入済企業が新たな宇宙航空事業を創出することが見込まれる提案であるか。 ・宇宙航空産業に関連する製品・サービスの創出が見込まれる提案であるか。
	宇宙航空産業の 基盤・国際競争力 強化	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の宇宙航空産業及び宇宙航空技術の国際競争力強化に繋がることが見込まれる提案であるか。
事業 プランの 妥当性	市場分析	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的データに基づき、論理的にターゲット市場における顧客分析、競合分析、自社分析が行われているか。
	事業モデル	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、事業モデルが論理的に提示されているか。
	事業実施体制・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を具現化する体制・能力(実施体制、保有技術、保有設備、経済的能力等)を有しているか。
	事業化スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、開発スケジュール、製品化スケジュール、販売スケジュールが論理的に提示されているか。
	収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市場分析に基づき、事業化後 3 ヶ年における年度別の収支計画が適切に提示されているか。
	リスク分析	<ul style="list-style-type: none"> ・事業リスクとその対応策が適切に提示されているか。

研究提案 内容の 妥当性	共同研究の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・JAXA の技術等が活用され、宇宙航空技術の進展が期待できる提案であるか。 ・提案者の保有する技術・研究成果を用いた提案となっているか。また、提案者の技術・研究成果の成熟度は、<u>実用研究以上のレベル</u>であるか。
	提案者の技術・研究成果の優位性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者の技術・研究成果は、他の技術・研究成果に対して優位性があるか。
	研究目標	<ul style="list-style-type: none"> ・中間目標及び最終目標が明確な理由に基づき定量的に設定されているか。
	研究課題	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の現状を的確に把握し、研究課題が明確な理由に基づき具体的に抽出されているか。
	研究方法	<ul style="list-style-type: none"> ・中間目標及び最終目標達成のために必要な研究要素を取り上げており、確実に課題解決につながる研究方法であるか。
	研究実施スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・中間目標及び最終目標達成のために妥当なスケジュールか。
	研究資金計画	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者及び JAXA が分担する研究費が妥当であるか。 ・研究費は具体化され、それぞれの内容は研究段階や研究活動の性格に相応しいか。
	研究実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・提案者と JAXA の役割・責任分担・実施体制は研究段階や研究活動の性格に相応しいか。 ・共同研究成果を最大化するため、提案者及び JAXA はそれぞれ組織(産業)横断的な視点で検討された研究体制となっているか。 ・共同研究メンバー組織は、国内の機関、法人または団体であるか。

■◇■ お問い合わせ先 ■◇■

宇宙航空研究開発機構(JAXA)
「JAXA オープンラボ公募」事務局
E-mail: openlab@jaxa.jp